



エスケー化研の 耐火被覆材ガイド

✦意匠 ✦機能 ✦コストをデザインする

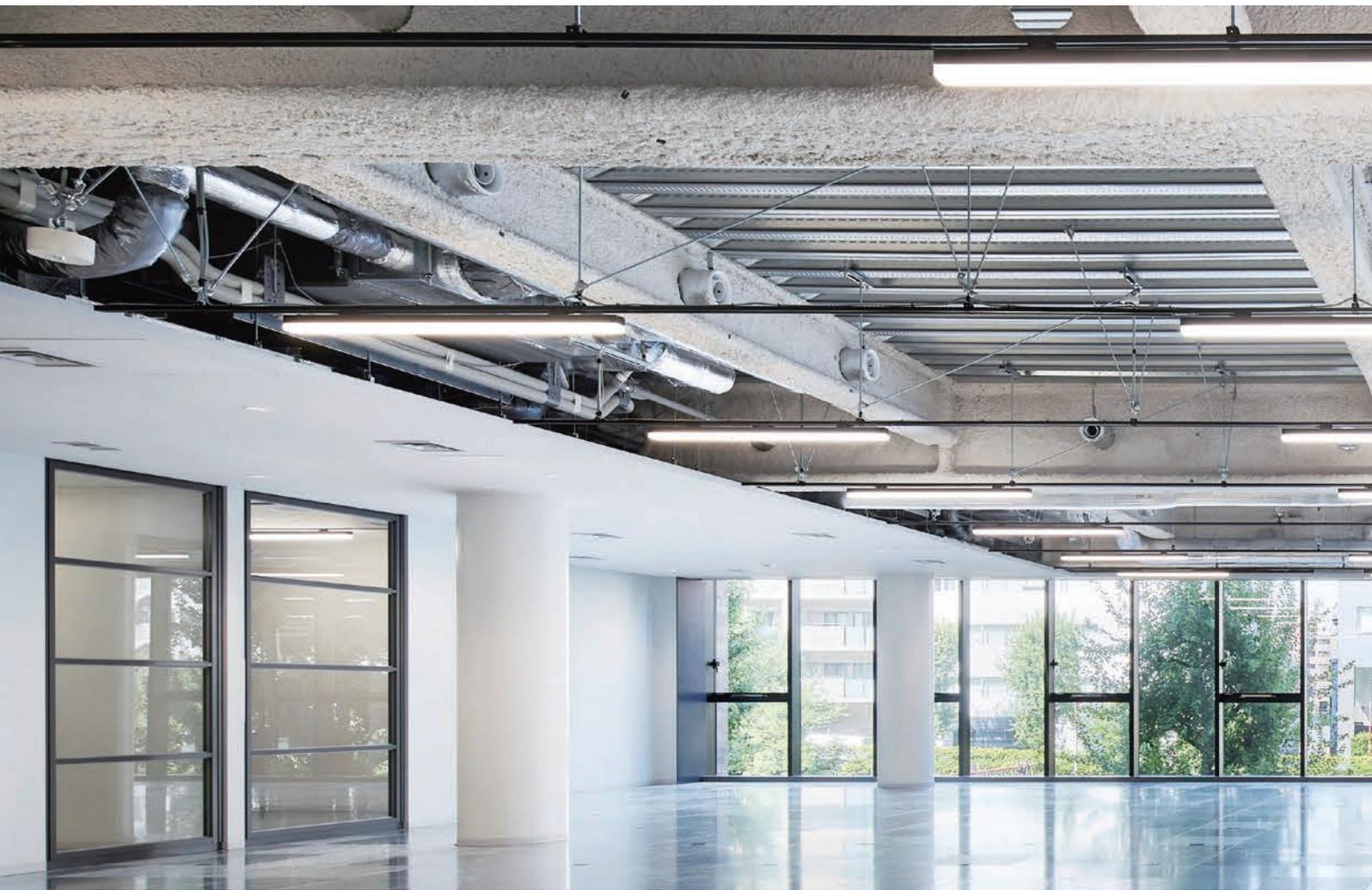
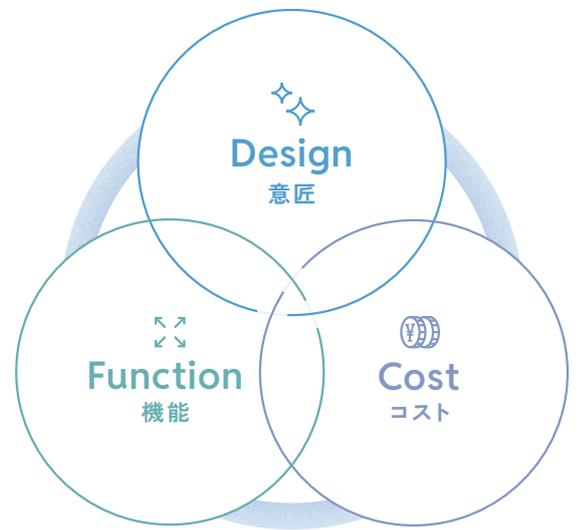


実はこれでほぼ全て
主な耐火被覆材の種類

現場施工から読み解く
適材適所工法10のご提案



鉄骨を デザインする ということ



多様化する建築に応える 適材適所の耐火被覆材

耐火被覆材は、「鉄骨を火災から守る」ことを目的としていますが、近年、建築物の多様化に伴い、用途や環境に応じて「意匠」「機能」「コスト」をデザインする“適材適所”の選定が求められるようになってきました。



鉄骨をあらわしで見せる、ガラスカーテンウォールを使用するなど、デザイン性の高い建築物



機能性の高い物流・生産施設(クリーンルーム、データセンター、冷凍冷蔵倉庫など)

意匠をデザインする

近年、鉄骨構造を「見せる」デザインを取り入れる建築が増えています。例えば教育施設や公共建築では、構造や素材をそのまま活かした空間が好まれ、天井を設けずに構造体を露出させるスケルトンの設計が増加しています。地震対策だけでなく、開放感のあるオフィス空間や、自由度の高い飲食・コミュニティスペースの実現にもつながっています。

機能をデザインする

人の往来が多いエントランス空間では、柱を鉄骨あらわしにすることでスムーズな動線を確保できます。さらに生産施設などでは、耐火塗料の使用によって厚みを抑えることが可能となり、従来のせっこうボードに比べてスペース効率のよいレイアウトが実現します。その他、屋外環境、遮音、遮煙、結露対策といった課題に対応します。

コストをデザインする

建築資材の価格が上昇する中、VEやCDを見据えた設計が求められています。耐火被覆においても、現場での工程削減や労務の省力化を図ることで、施工コストの最適化が可能です。設計段階から工法を見直すことで、トータルコストを抑えた建築が実現できます。



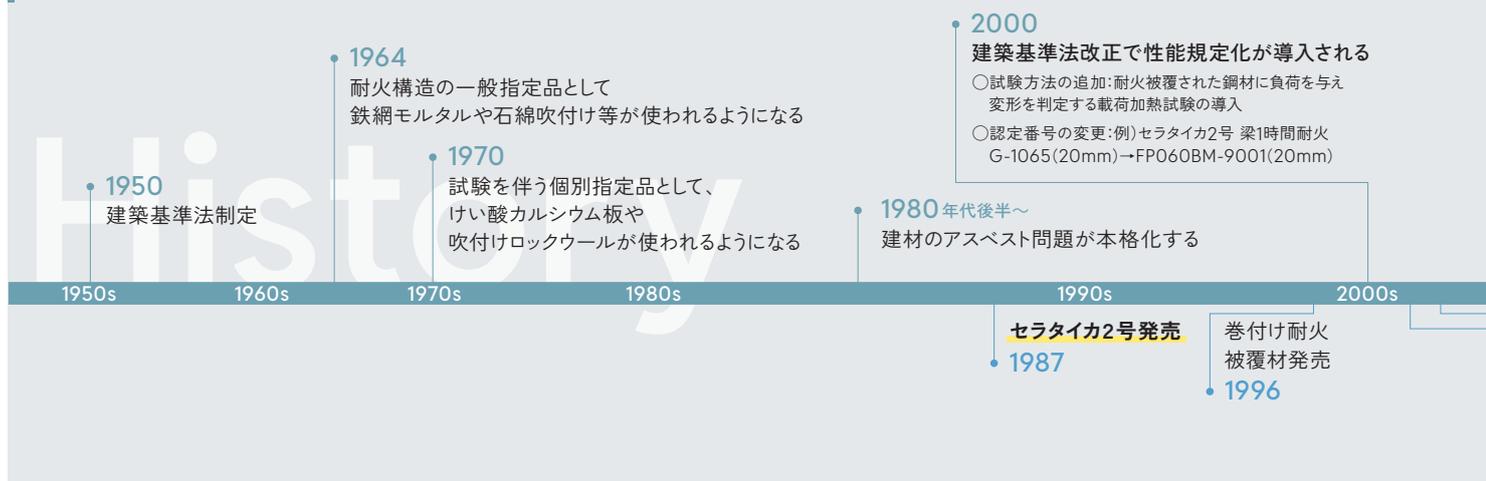
どんな耐火被覆材がある？ **主な耐火被覆材の種類**

▼ エステー化研の製品 建築物の多様化に伴い、意匠性や屋外用途など市場のニーズに対応した工法を開発しています。

一般名 [製品名]		耐火塗料 [SKタイカコート]			2液反応硬化型耐火塗料 [SKタイカコートHS]			耐火シート [SKタイカシート]		セラミック系耐火被覆材(湿式) [セラタイカ2号]		
仕上がり例												
認定	耐火時間(hr)	1	2	1	1.5	2	1	2	1	2	3	
	柱の防火被覆*	防火被覆30分			防火被覆30分			—		—		
	厚み	0.5～4.5mm			0.5～5.4mm			1.5～3mm		10～40mm		
	不燃性	—			—			—		○		
	施工環境区分	屋内	準屋外	屋内	準屋外	屋内	準屋外	屋内	準屋外	屋内	準屋外	
		屋外防水	屋外	屋外防水	屋外	屋外防水	屋外	屋外防水	屋外	屋外防水	屋外	
施工方法		エアレススプレー塗り ローラー塗り			エアレススプレー塗り ローラー塗り			貼り付け		吹付け 左官塗り		
特長	意匠性	○			○			○		○		
	乾式							○				
	速乾				○							
	耐水				○			○				
	遮音・遮煙									○		
	断熱											
	冷蔵倉庫適用				○					○		

※. 3階以上の準耐火建築物の鉄骨柱では、施行令第70条「柱の防火被覆」が適用されます。

耐火被覆材の主な歴史





実はこれほぼ全て

耐火被覆材には、下表の通り吹付け系（湿式・半乾式）、塗装系、成型板張り付け系、巻付け系があり、屋内外の適用や意匠性、コスト等を考慮した“適材適所”で選定されます。これらは大臣認定仕様と呼ばれ、各メーカーが認定を取得しており、ALC・ECP・PC等、壁との合成耐火認定も取得しています。その他、国が定める告示仕様があり、吹付けロックウール、けい酸カルシウム板にはその仕様もあります。

▼ 汎用の製品 天井や壁で覆われる隠ぺい部で使われる吹付けロックウールや、倉庫等のあらわして使う巻付け耐火被覆材があります。

吹付けロックウール			巻付け耐火被覆材					けい酸カルシウム板			ALC	
1	2	3	1	1.5	2	2.5	3	1	2	3	1	2
—			—					—			—	
25～65mm			20～105mm					15～70mm			35～75mm	
○			○					○			○	
屋内	準屋外		屋内	準屋外				屋内	準屋外		屋内	準屋外
屋外防水	屋外		屋外防水	屋外				屋外防水	屋外		屋外防水	屋外
吹付け			張り付け					張り付け			張り付け	
			○					○			○	
			○					○			○	
											○(塗装あり)	
○			○									

2006

労働安全衛生法の改正などにより、アスベストの製造・使用がほぼ全面的に禁止になる

2023

建築基準法改正で柱梁1・2・3時間耐火に加え、1.5時間、2.5時間耐火が導入される

耐火時間	条件
1時間	最上階から数えた階数 4以内
1.5時間	// 5以上9以下
2時間	// 10以上14以下
2.5時間	// 15以上19以下
3時間	// 20以上

2010s

2020s

SKタイカシート発売

2002

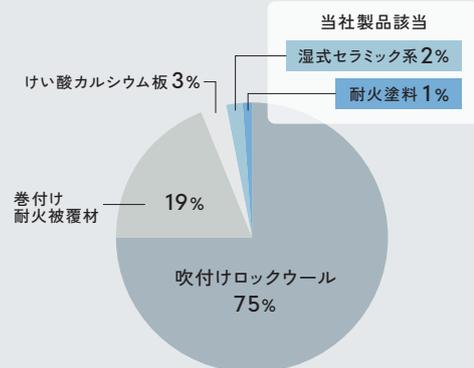
SKタイカコート発売

2001

SKタイカコートHS発売

2019

耐火被覆材の市場シェア



参考：日本建築学会発行「構造材料の耐火性ガイドブック」(2017年)

鉄骨をデザインするために、現場施工から読み解く

適材適所工法10 のご提案 早わかりINDEX

当社では製造から請負工事までを一貫して対応することで、多用化するお客様のニーズに合わせた耐火被覆工法をご提供してまいりました。
ここでは、近年ご相談の多い内容について適材適所の工法をご提案します。

立体駐車場

車路・スロープの柱・梁

風雨対策 鳥害対策

SKタイカコートHS、セラタイカ2号

ページ
P.9

ご提案
No.
03

ビル・複合商業施設・公共施設等

あらかし鉄骨の丸柱

意匠性 SKタイカシート

ページ
P.7

ご提案
No.
01

外部室外機置場の柱・梁

耐水性 SKタイカコートHS、セラタイカ2号

ページ
P.8

ご提案
No.
02

エントランスの丸柱

損傷防止 意匠性 セラタイカ2号

ページ
P.11

ご提案
No.
05

丸柱の表面を平滑にする場合

意匠性 セラタイカ2号

ページ
P.11

ご提案
No.
06

天井内の梁貫通部・梁下端クリアランス

薄い被膜厚 セラタイカ2号

ページ
P.12

ご提案
No.
07

ホテル・住居の柱・梁

遮音性 セラタイカ2号

ページ
P.12

ご提案
No.
08

防火区画を構成する柱・梁

遮煙性 セラタイカ2号

ページ
P.12

ご提案
No.
08

プラント施設

高圧ガス球形貯槽の脚柱、
パイプラックの柱・梁

薄膜

SKタイカコート、SKタイカコートHS

ページ
P.13

ご提案
No.
10

生産施設(3F以上)

柱の防火被覆(30分耐火)

薄膜

SKタイカコート、SKタイカコートHS

ページ
P.10

ご提案
No.
04

データセンター

外部室外機置場の柱・梁

耐水性

SKタイカコートHS、セラタイカ2号

ページ
P.8

ご提案
No.
02

物流施設・冷凍冷蔵倉庫

車路・ランプ・スロープの柱

風雨対策 SKタイカコートHS

ページ
P.9

ご提案
No.
03

車路・ランプ・スロープの梁

風雨対策 鳥害対策 セラタイカ2号

P.9

03

冷凍冷蔵倉庫内の柱・梁

結露・凍結対策 セラタイカ2号

P.13

09

01

ガラスカーテンウォール近傍やエントランスで多用される **あらかし鉄骨の丸柱**は

けい酸カルシウム板・金属パネル工法 から **耐火シート** へ



一般的な工法

屋内 | けい酸カルシウム板、吹付けロックウール等耐火被覆材+ボード
屋外 | 金属パネル工法(吹付けロックウール等耐火被覆材+金属パネル)

△ 丸柱の径が大きくなってしまふ

ご提案

屋内・準屋外 | 耐火シート(SKタイカシート)なら

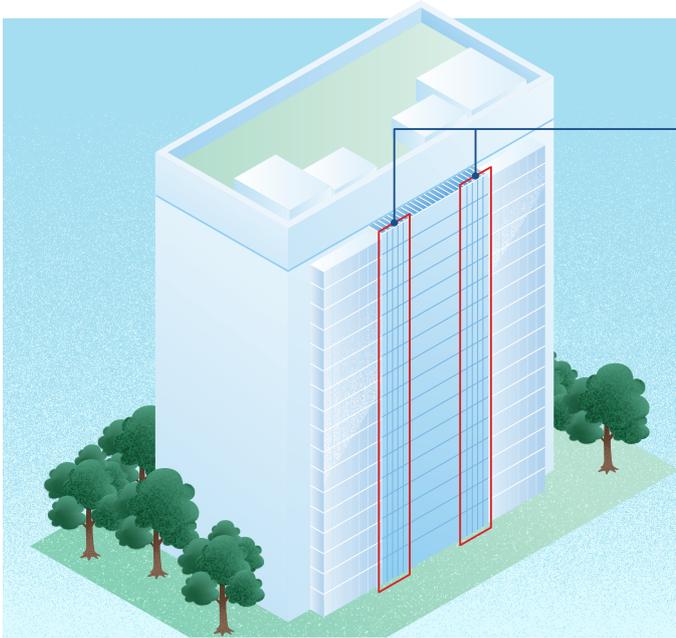
わずか**1.7mm、3mm**の厚さで
細くフラットな仕上げが可能

	けい酸カルシウム板 屋内仕様	金属パネル工法 屋外仕様	SKタイカシート 屋内・準屋外仕様	SKタイカシート 屋内・準屋外仕様[裝飾仕上げ]
時間耐火	1時間 / 2時間	1時間 / 2時間	1時間 / 2時間	1時間 / 2時間
厚み	25mm	25mm / 45mm	1.7mm、3mm / 3mm	1.7mm、3mm / 3mm
施工イメージ				
ファブ	防錆塗装	捨てピース取り付け 防錆塗装	防錆塗装	防錆塗装
現場施工	けい酸カルシウム板 取り付け	軽鉄下地取り付け 吹付けロックウール 金属パネル取り付け	SKタイカシート パテ処理 フラット塗装仕上げ	SKタイカシート パテ処理 裝飾仕上げ
	パテ処理 塗装仕上げ	シーリング処理		Point 仕上材の選定で さらに意匠性をアップ

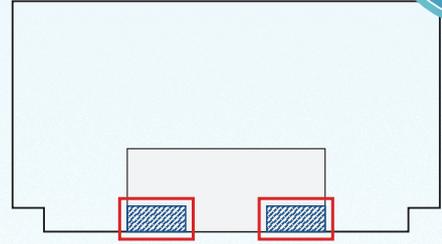
02

ビル・データセンターにおける外部室外機置場の柱・梁は

金属パネル工法 から 2液反応硬化型耐火塗料へ



室外機置場(断面図)



工程数・コストダウン

ビルの室外機置場は、維持保全や空調効率を考慮して多くは各階に設置されます。置場はルーバーで覆われていますが、雨風が侵入する部位でもあり、そこに位置する耐火被覆材は屋外扱いになります。

一般的な工法

吹付けロックウールor巻付け耐火被覆材+金属パネル

- △ ファブでの捨てピース取り付け、現場での軽鉄下地取り付けを伴う
- △ 飛散養生や複雑な取り付けがあり、工程がかかる

ご提案

耐水性が向上した
2液反応硬化型耐火塗料(SKタイカコートHS)なら一工種のため

○ 工程数、コスト面でメリット

吹付けロックウール
+
金属パネル 屋外仕様

時耐火
厚み

1時間 / 2時間 / 3時間
25mm / 45mm / 60mm
(吹付けロックウール)



施工イメージ

ファブ

- 捨てピース取り付け
- 防錆塗装

現場施工

- 軽鉄下地取り付け
- 吹付けロックウール
- 金属パネル取り付け
- シーリング処理

SKタイカコートHS
屋外仕様

1時間 / 1.5時間 / 2時間
1.5mm / 3.5mm / 4.8mm



防錆塗装

防錆塗装

SKタイカコートHS

3時間耐火

セラミック系耐火被覆材
セラタイカ2号
屋外防水仕様を
ご提案

高弾性アクリルゴム系塗材の併用及び柱・梁の天端部分に笠木を設置する工法により、外部での3時間耐火を実現しました。

①②③の工事をメーカーにて
トータル管理、施工
いたします。

セラタイカ2号
屋外防水仕様

3時間
40mm



- 捨てピース取り付け
- 防錆塗装

- ラス下地取り付け
- セラタイカ2号
左官塗り
- 防水塗装仕上げ

ご提案

03

物流施設等の
車路、ランプ、スロープの柱は **ALC** から
2液反応硬化型耐火塗料 へ

梁は **セラミック系**
耐火被覆材 へ



工程数・
コストダウン
風雨
対策

一般的な工法

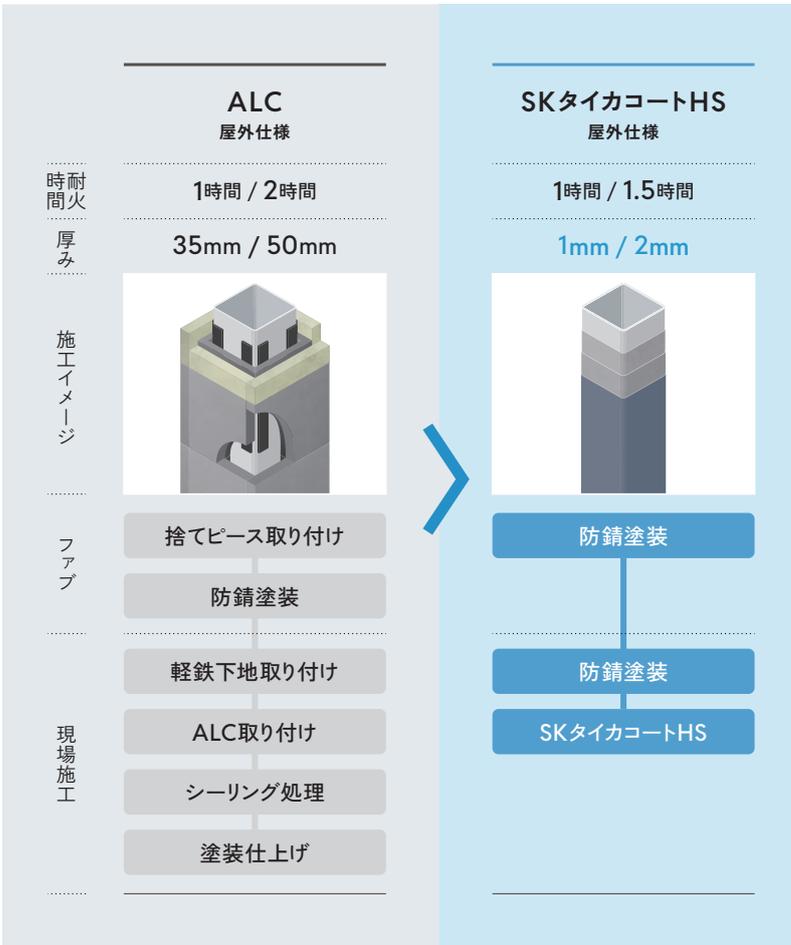
鉄骨柱の耐火被覆にALCを使用

△ ALC工事はファブでの捨てピース取り付け後、現場での軽鉄
工事から塗装仕上げまで多工種による施工が必要となり、工期も
コストもかかる

ご提案

耐水性が向上した
2液反応硬化型耐火塗料(SKタイカコートHS)なら一工種のため

○ 工程数、コスト面でメリット
さらに、薄膜のため風雨対策にも有効



梁

セラミック系耐火被覆材
セラタイカ2号
標準仕様(吹付け)

車路、ランプ、スロープの梁

コストを抑えるなら準屋外環境に対応する
「セラタイカ2号」

- ✓ 吹き込んでくる風雨に強い
- ✓ 表面が硬く、鳥害対策にも効果的

セラタイカ2号

04

3階建て以上の生産施設における柱の防火被覆「施行令第70条(30分耐火)」は

せっこうボード から 耐火塗料 へ

薄膜



一般的な工法

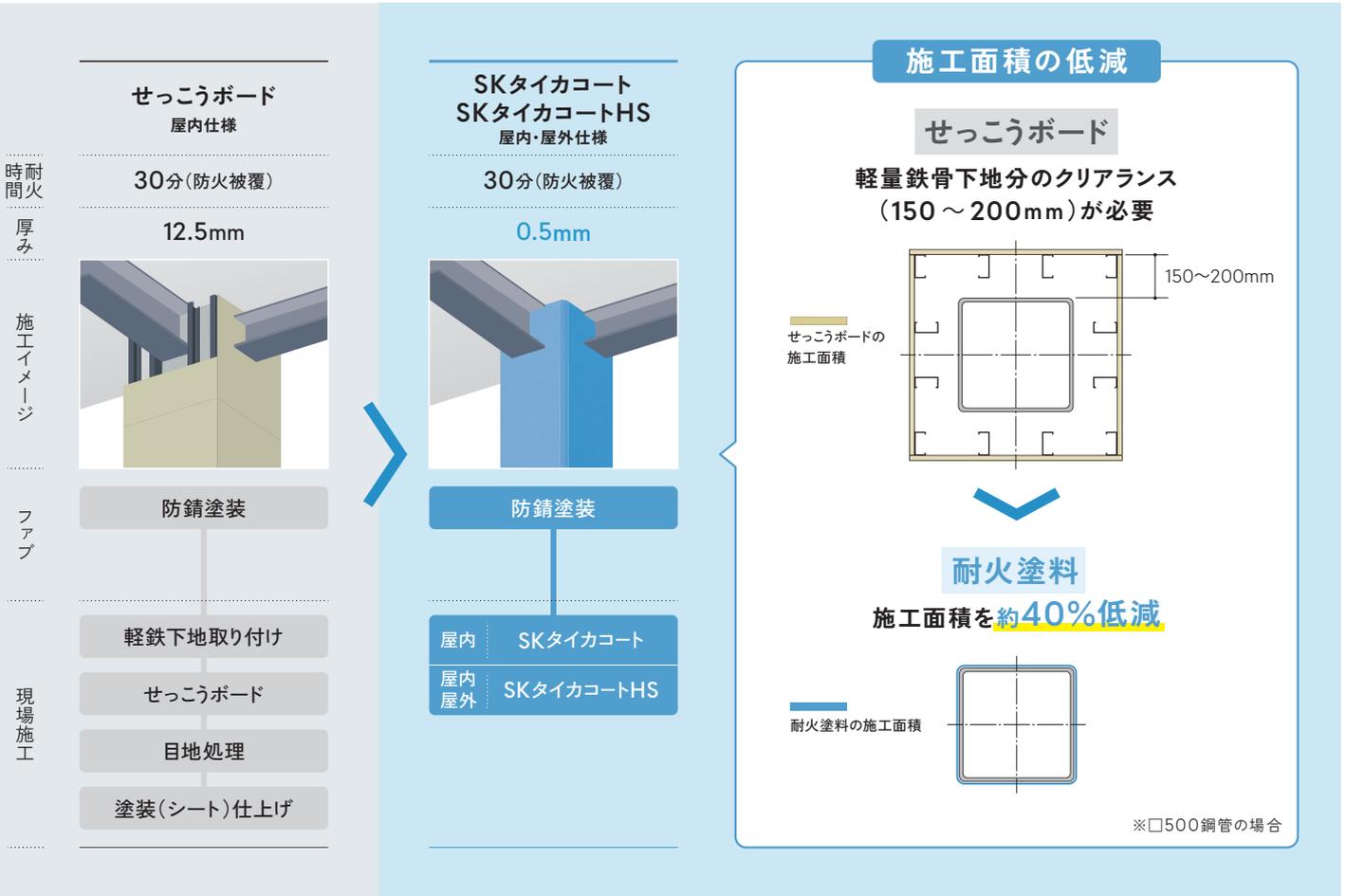
せっこうボード張り(告示仕様)が一般的

- △ 階高5mを超える施工では歩掛が悪く、コスト高
- △ 梁仕口部、耐風梁、プレースの納まり処理が困難

ご提案

耐火塗料(SKタイカコート・SKタイカコートHS)なら

○ **0.5mmの超薄膜**
 さらに工程数・施工面積・建材を低減、
 取り合い処理も簡易



困った時のセラタイカ2号

1985年、アスベストを一切含まない耐火被覆材として「セラタイカ」を開発。その後、改良タイプを「セラタイカ2号」として販売しました。以来約40年、40以上の認定を取得し、多様な工法を開発して数々の施工実績を重ねてきたセラタイカ2号は、湿式・セラミック系という特長を活かして、建築物の部位ごとに求められる意匠性、平滑性、クリアランスの確保、遮音、遮煙、結露対策といった課題に対応します。

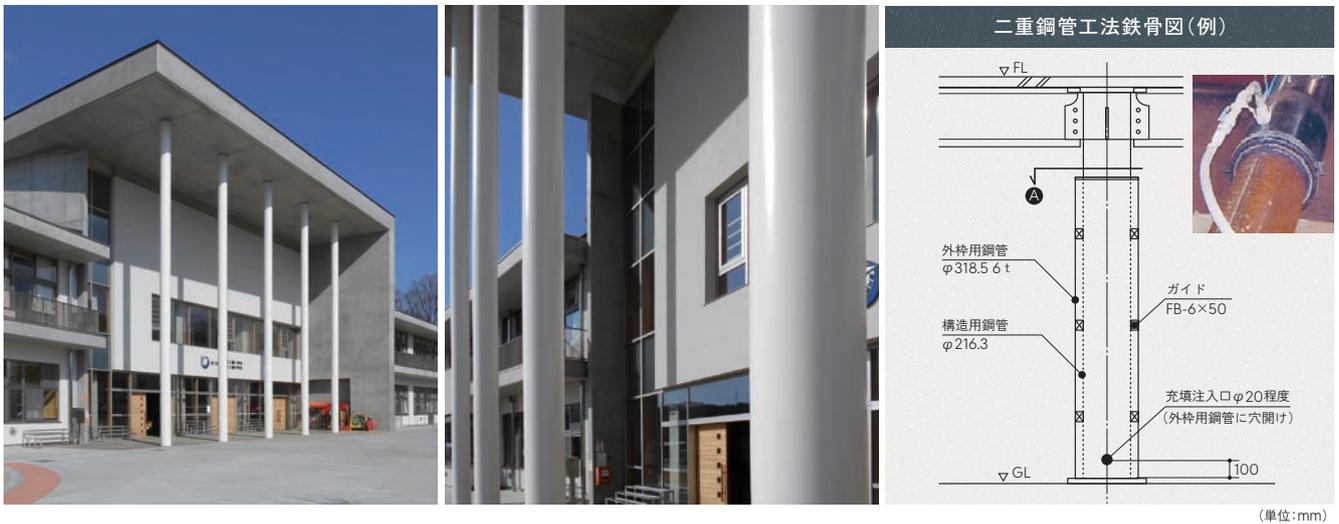
ご提案 耐火被覆材のメンテナンスフリー化+意匠性

05 二重鋼管工法



○ 公共性の高い建物のエントランス部など、耐火被覆材が損傷しやすい部位に最適

構造鋼管に所定の被覆厚を確保できる仕上げ用鋼管を溶接固定し、その隙間にセラタイカ2号を充填する工法です。



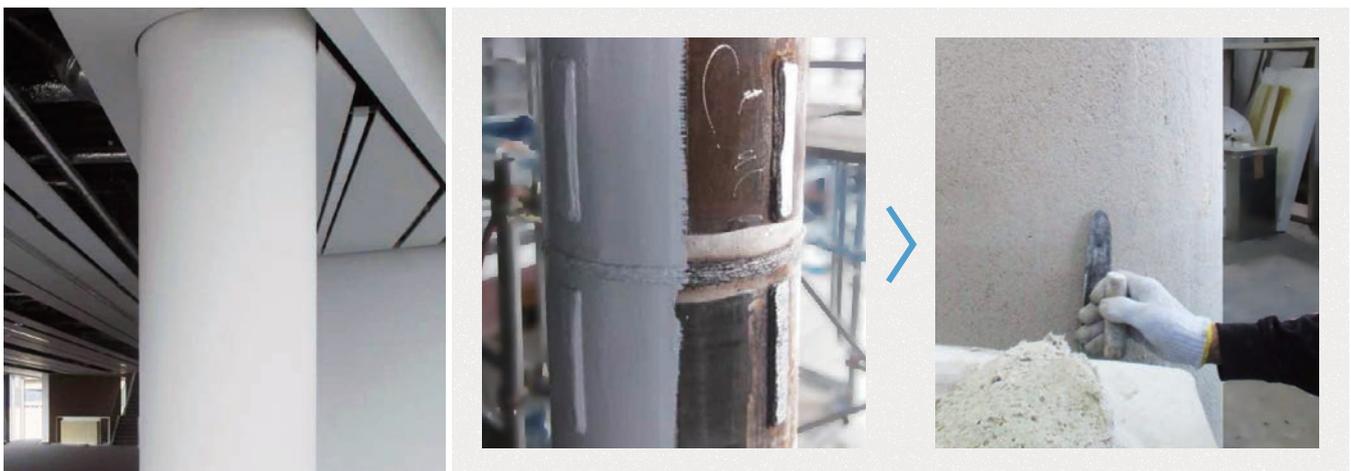
ご提案 鋼管柱の溶接ビードや切削跡を平滑に

06 左官工法



○ スリムで平滑な柱を実現

セラタイカ2号による数十ミリの被膜が鋼管柱に見られる溶接ビードや接合部の切削跡の凹凸を隠し、表面を平滑に仕上げます。また、耐火塗料では対応が難しい細径鋼材などにも適用可能です。



ご提案 鉄骨梁の貫通孔および天井高のスペース確保

07 薄膜スリーブ工法



○ 一つの材料で薄く仕上がり、スリーブ用耐火被覆材のような仕様制限がありません。

一般的な工法

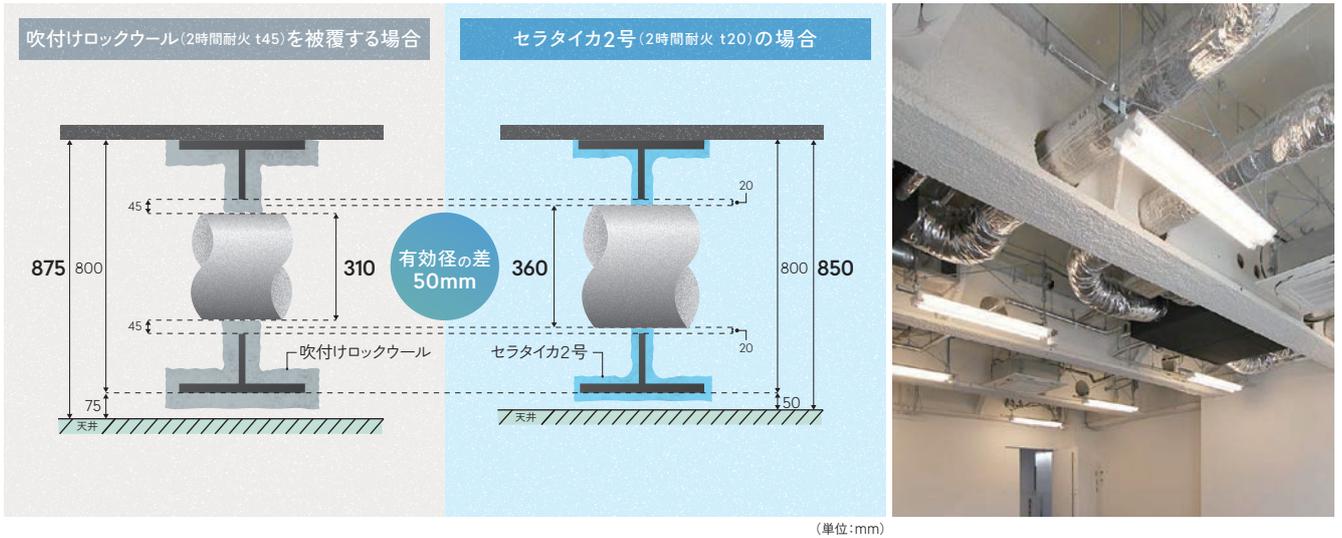
吹付けロックウール+スリーブ用耐火被覆材

△ 吹付けロックウールの膜厚で貫通孔の確保が難しい場合、スリーブ用耐火被覆材を使用するが、認定上、鋼材の形状やスリーブ間隔などの仕様には制限があり、その確認の負担が大きい

ご提案

セラミック系耐火被覆材(セラタイカ2号)

- 10~30mmの薄膜で1~3時間耐火認定に対応
- スリーブ有効径や天井高の確保に有効



ご提案 鉄骨造のホテル・住居の遮音性能向上、遮煙性も担保

08 遮音工法&遮煙性



○ 耐火性能と同時に遮音性・遮煙性を担保できる工法として、ハイクラスのホテル・住居への採用が増加
 高層複合建築物によく見られる鉄骨造のホテル・住居において、遮音、遮煙性は竣工後に対応が難しい重要な性能です。
 吹付けロックウールや巻付け耐火被覆材より高比重のセラタイカ2号は、戸境壁の遮音性や防火区画の遮煙性が確認されています。



冷凍冷蔵倉庫における耐火被覆材と不燃材料

S造の冷凍製造倉庫は、RC造に比べて断熱性能など注意すべき点があり、その一つが鉄骨耐火被覆材の結露・凍結です。当社ではその対策として高比重でセメントを主成分としているセラタイカ2号をご提案。安心して使っていただける耐火被覆材として、数々の実績でその効果が確認されています。

ご提案 09 鉄骨造冷凍冷蔵倉庫の耐火被覆に最適

結露・凍結対策



一般的な工法

吹付けロックウール・巻付け耐火被覆材

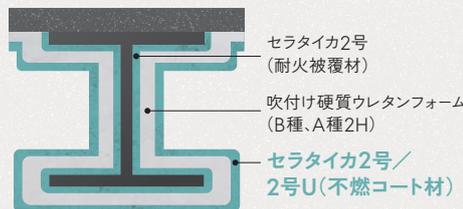
△ 材料内部での結露発生リスクがある

ご提案

セラミック系耐火被覆材(セラタイカ2号)



- 比重が高いセメントを主成分とするため、結露・凍結が発生しにくい
- 吹付け硬質ウレタンフォームとの付着性も担保



さらに〈吹付け硬質ウレタンフォームの不燃化〉にも対応

あらわしになる吹付け硬質ウレタンフォームの表面をセラタイカ2号もしくはセラタイカ2号Uで覆うことで、火災上の安全対策及び法的な内装制限に対応することが可能です。

安全性・施工性の高い工法提案

プラント施設における耐火被覆材

プラント施設では法令に基づく耐火被覆材の施工が義務づけられています。特に、高圧ガス球形貯槽の脚柱やパイプラックでは、耐火性能に加え、構造安全性が求められます。従来の耐火モルタルは、経年劣化による雨水の浸入で脚注・梁の腐食が進み、地震時の倒壊リスクといった課題がありました。そこで当社では、薄膜で現場施工性に優れ、耐震性でも有利な耐火塗料工法をご提案。過酷な環境下でも安定した性能を発揮し、プラント全体の安全性向上に貢献します。

ご提案 10 プラントの耐火被覆は

耐火モルタル から 耐火塗料 へ



一般的な工法

耐火モルタル

- △ 経年劣化による雨水侵入、脚柱・梁の腐食
- △ 定期的な検査や補修が必要

ご提案

耐火塗料 (SKタイカコート屋外防水仕様、SKタイカコートHS屋外仕様)



- 薄膜のため耐震性、安全性が高い
- 現場施工性に優れる



※写真は参考イメージです

エスケー化研の鉄骨耐火被覆認定一覧

このパンフレットに掲載の当社製品は全てメーカー施工となります。

■法第2条第7号[耐火構造]

製品名	部位	形状	耐火時間	認定番号	厚み(mm)	断面形状	適用条件	
							鋼材サイズ(mm)	
SKタイカコート	梁	単体	1時間	FP060BM-9419	1.0~2.5	H	専用パンフレットをご参照ください。	
			2時間	FP120BM-0276	3.7	H	H400×200×8×13以上	
	柱	単体	1時間	FP060CN-9472	0.75~4.5	□・○・H	専用パンフレットをご参照ください。	
			2時間	FP060CN-0047	2.0	□・○	□300×300×9、φ318.5×9以上	
				FP120CN-0195	3.0	□・○	□350×350×22、φ350×27.3、φ376.8×25、φ421.7×22以上*1	
				FP120CN-0248	4.0	H	H300×300×10×15以上	
FP120CN-0224	4.5	□・○	□300×300×9、φ300×11.4、φ305.7×11.1、φ308.3×11、φ327.8×10.3、φ337×10、φ353.7×9.5、φ372.3×9以上*1					
SKタイカコートHS	梁	単体	1時間	FP060BM-0574	1.5	H	H400×200×8×13~H1200×500×22×40	
			1.5時間	FP090BM-0802	3.5	H	H400×200×8×13~H1200×500×22×40	
			2時間	FP120BM-0681	4.8	H	H400×200×8×13~H1200×500×22×40	
			1時間	FP060CN-0916	1.0	□・○	□500×500×19~□1000×1000×40、φ637×19~φ1273×40	
				FP060CN-0788	2.0	□・○	□200×200×9~□1000×1000×40、φ254×9~φ1273×40	
				FP060CN-0906	4.5	□・○	□100×100×4.5~□300×300×9、φ128×4.5~φ382×9	
	柱*2	単体	1.5時間	FP060CN-0931	1.7	H	H300×300×10×15~H1000×1000×40×50	
				FP060CN-0944	2.8	H	H150×150×7×10~H1000×1000×40×50	
				FP090CN-1048	2.0	□・○	□500×500×19~□1000×1000×40、φ637×19~φ1273×40	
			2時間	FP090CN-1081	4.0	□・○	□300×300×9~□1000×1000×40、φ382×9~φ1273×40	
				FP090CN-1133	3.3	H	H300×300×10×15~H1000×1000×40×50	
			FP120CN-0898	5.4	□・○	□300×300×9~□1000×1000×40、φ382×9~φ1273×40		
			FP120CN-0898-1	5.4	□	□150×150×12~□1000×1000×40		
			FP120CN-0980	4.8	H	H300×300×10×15~H1000×1000×40×50		
SKタイカシート	梁	単体	1時間	FP060BM-0115	1.5	H	H400×200×8×13以上	
			2時間	FP120BM-0336	3.0 (1.5×2)	H	H400×200×12×22以上	
		複合	1時間	FP060BM-0152	1.5/1.0	H	H400×200×8×13以上	
	柱	単体	1時間	FP060CN-0598	1.7	□・○	□300×300×9~□1000×1000×40、φ382×9~φ1016×40*2	
				FP060CN-0584	3.0	□・○	□100×100×4.5~□300×300×9、φ128×4.5~φ382×9*2	
				FP060CN-0584-1	(1.5×2)	□・○	□100×100×4.5~□300×300×9、φ128×4.5~φ382×9*2	
			2時間	FP060CN-0009	3.0	□・○	□300×300×9、φ318.5×9以上	
				FP120CN-0512	3.0 (1.5×2)	□・○	□300×300×19~□1000×1000×40、φ300×23.6、φ317.7×22、φ325.4×21.4、φ361.4×19以上*1	

■令第70条[柱の防火被覆]

製品名	部位	形状	耐火時間	認定番号	厚み(mm)	断面形状	適用条件	
							鋼材サイズ(mm)	
SKタイカコート	柱	単体	30分	CC-0001	0.5	□・○	□300×300×12、φ355.6×12以上	
				CC-0002	0.5	H	H300×300×10×15以上	
SKタイカコートHS	柱*2	単体	30分	CC-0010	0.5	□・○	□300×300×9~□1000×1000×40、φ382×9~φ1273×40	
				CC-0011	0.5	H	H300×300×10×15~H1000×1000×40×50	

■法第2条第7号[耐火構造]

製品名	部位	形状	耐火時間	認定番号	厚み(mm)	断面形状	適用条件		
							鋼材サイズ(mm)		
セラタイカ2号	梁	単体	1時間	FP060BM-0274	10	H	H400×200×8×13以上		
				FP060BM-9001	20	H	制限なし		
			2時間	FP120BM-0275	20	H	H400×200×8×13以上		
				FP120BM-9009	30	H	制限なし		
			3時間	FP180BM-0277	30	H	H400×200×8×13以上		
				FP180BM-9019	40	H	制限なし		
		合成	ALC	1時間	FP060BM-9002	20	H	制限なし	
				2時間	FP120BM-9011	30	H	制限なし	
			ECP	1時間	FP060BM-0205	20	H	H400×200×8×13以上	
				2時間	FP120BM-0208	30	H	H400×200×8×13以上	
			PC	1時間	FP060BM-0116	20	H	H400×200×8×13以上	
				2時間	FP120BM-9015	30	H	制限なし	
	柱	単体	1時間	FP060CN-0252	10	□・○	□300×300×9以上、φ372.3×9以上、φ300×11.4以上*1		
				FP060CN-0253	10	H	H300×300×10×15以上		
			2時間	FP060CN-9001	20	□・○・H	制限なし		
				FP120CN-9013	30	□・○・H	制限なし		
			3時間	FP180CN-9026	40	□・○・H	制限なし		
				FP060CN-9010	10	□・○	□400×400、φ400以上 (レディーミクストコンクリート)		
	CFT	2時間	FP120CN-9025	15	□・○	□400×400、φ400以上 (レディーミクストコンクリート)			
			FP180CN-9034	20	□・○	□400×400、φ400以上 (レディーミクストコンクリート)			
		3時間*3	FP180CN-0758	25	□・○	□450×450×12以上、φ450×12以上 (コンクリート：設計基準強度：24~100N/mm)			
			FP180CN-0758-1	25	□・○	□450×450×12以上、φ450×12以上 (コンクリート：設計基準強度：24~150N/mm)			
		合成	ALC	1時間	FP060CN-9002	20	□・○・H	制限なし	
				2時間	FP120CN-9016	30	□・○・H	制限なし	
ECP	1時間		FP060CN-0311	20	□	□200×200×6以上			
			FP060CN-0317	20	H	H125×125×6.5×9以上			
	FP060CN-0320		20	H	H300×300×10×15以上				
	FP120CN-0323		30	□	□200×200×6以上				
2時間	FP120CN-0329		30	H	H125×125×6.5×9以上				
	FP120CN-0332		30	H	H300×300×10×15以上				
PC	1時間		FP060CN-0135	20	H	H300×300×10×15以上			
	2時間		FP060CN-0178	20	□	□300×300×9以上			
スパングリート	1時間		FP120CN-9019	30	□・○・H	制限なし			
			3時間	FP180CN-9028	40	□・○・H	制限なし		
	2時間	FP060CN-9003	20	□・○・H	制限なし				
		FP120CN-9017	30	□・○・H	制限なし				

*1 ○形鋼管は□形鋼管の同断面面積以上かつ外径以上かつ厚み以上が適用。

*2 認定上、鋼材サイズは幅厚比の制限があります。詳しくは認定書をご確認ください。

*3 採用可能な建設会社一覧：鹿島建設株式会社、株式会社大林組、清水建設株式会社、大成建設株式会社、株式会社竹中工務店、株式会社鴻池組、戸田建設株式会社、西松建設株式会社、株式会社安藤・間、株式会社フジタ、三井住友建設株式会社、株式会社熊谷組、五洋建設株式会社、前田建設工業株式会社、大和ハウス工業株式会社

*4 合成耐火の裏あて材(ロックウール保温板50×50mm、密度150kg/m³)が必要です。

(注意) 認定条件を十分ご確認の上、ご使用ください。

エスケー化研株式会社

本社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 Tel 072-621-7733

北海道

札幌支店 011-784-4000
旭川営業所 0166-51-8094

東北

仙台支店 022-259-2431
盛岡営業所 019-654-8380
青森営業所 017-762-3855
郡山営業所 024-962-7673
秋田出張所 018-883-0230

関東

東京支店 03-3204-6601
東京耐火断熱営業所 03-3204-6603
東京営業所 03-3204-6601
三多摩営業所 042-564-5806
水戸営業所 029-251-6515
新潟営業所 025-285-6551
城東営業所 03-3877-7770
静岡営業所 054-284-1877
横浜支店 045-820-2400
厚木営業所 046-294-3666
千葉支店 043-304-0411

北関東

埼玉支店 048-686-2391
群馬営業所 027-280-5350
宇都宮営業所 028-657-5555

北信

北陸支店 076-266-1041
長野営業所 026-239-6210
松本営業所 0263-24-2677

中部

名古屋支店 052-561-7712
名古屋営業所 052-561-7712
浜松営業所 053-462-7021
三河営業所 0564-28-1614
岐阜営業所 058-273-1981
三重営業所 059-254-3777

関西

大阪支店 072-621-7721
大阪営業所 072-621-7722
京都支店 075-646-3967
南大阪営業所 072-253-1910
神戸支店 078-671-0451
姫路営業所 079-281-5311

中国

広島支店 082-943-5043
岡山営業所 086-242-5520
山口営業所 083-924-7575

四国

高松支店 087-865-5411
松山営業所 089-958-3780

九州・沖縄

福岡支店 092-629-3427
北九州営業所 093-621-8505
大分営業所 097-555-9081
長崎営業所 095-887-0871
熊本営業所 096-344-5650
宮崎出張所 0985-61-7779
鹿児島営業所 099-284-5321
沖縄営業所 098-862-5041

<https://fai.sk-kaken.co.jp>

